

製品名: セクレトグラニン-1 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab17700

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	78kDa

抗原情報

遺伝子名	CHGB SCG1
別名	Secretogranin-1 (Chromogranin-B;CgB;Secretogranin I;Sgl) [Cleaved into: GAWK peptide; CCB peptide]
遺伝子 ID	1114.0
SwissProt ID	P05060
免疫原	ヒトセクレトグラニン-1 由来の合成ペプチド

背景

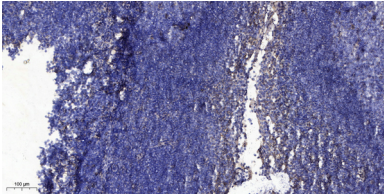
この遺伝子は、ペプチド作動性内分泌細胞およびニューロンに豊富に存在するチロシン硫酸化分泌タンパク質をコードする。このタ

ンパク質は、調節ペプチドの前駆体となる可能性がある。[RefSeq 提供、2009年1月]機能: セクレトグラニン-1 は神経内分泌分泌顆粒タンパク質であり、他の生理活性ペプチドの前駆体となる可能性がある。、翻訳後修飾: 保存された塩基性残基における限定的なタンパク質分解によって広範囲に処理される。異なる組織では異なる処理が見られる。、類似性: クロモグラニン/セクレトグラニンタンパク質ファミリーに属する。、細胞内局在: 神経内分泌および内分泌分泌顆粒。、組織特異性: 副腎髄質および褐色細胞腫で発現する。肝臓では発現しない。、

研究分野

-

画像データ



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°Cで一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30分)。